

編集・発行 社会福祉法人 香美町社会福祉協議会
〒669-6545 香美町香住区森31-1 香美町香住地域福祉センター内
TEL 0796-39-2050 TEL 0796-36-2758 FAX 0796-39-2150
ホームページアドレス <http://www.kami-shakyo.org/>



とどけます みんなの元気

美濃谷地蔵尊祭 (香住区油良間室両村会)

8月24日(水) 美濃谷地蔵尊祭が、美濃谷地蔵堂で開催されました。美濃谷の地蔵尊は1つのお願いごとを叶えてくれると言われています。大護摩の灰は魔よけに、護摩の周囲に飾られる幣帛へいはくはお守りとして参拝者が持ち帰ることができ、そのご利益を得ようと子どもから高齢者まで、毎年多くの方が参拝されます。

この祭りは油良間室両村会が主催しており、油良区と間室区が交代で当番をしています。

本年度当番の間室区代表の吉田祐二さんは「集落の方はもちろん、県外からも多くの方に来ていただいています。伝統の行事なので、絶やしたくないと思っています」と話されました。

《今月の主な内容》

「福祉(ふだんのくらしのしあわせ)」… 2～3
里親になりませんか? … 3
10月1日～赤い羽根共同募金運動開始 … 4

ボランティア情報コーナー … 5
サマーボランティア特集 … 6～7
けいじばん … 8



「社ふだんのしあわせ」

香美町社会福祉協議会の基本理念は、「ささえあい安心して暮らせるまちづくり」です。それは、集落内で住民一人ひとりの困りごとを見逃さない仕組みをつくり、住みなれた集落で安心して暮らし続けたいという願いを実現することです。今回は、平常時の暮らしから防災・減災に至るまで、福祉の観点から考えてみます。

「支え合い」「安心」「つながり」

平常時から災害時まで、今や福祉と防災・減災は一体的に進めていくものになっています。福祉と防災・減災に共通する点とは「支え合い」と「安心」であり、共通のキーワードは「つながり」です。

支え合いという「つながり」

人口減少や少子高齢が進んでいく中で、「豊かさ」と「安心」を感じながら暮らしていくポイントが、住民同士の支え合いです。支え合いを進めていくためには、お互いのことを気に

かけてつながるといことが基盤になります。

しかしながら現在は、お互いがお互いに関心を持ち合うこと（つながり）がなくなってきたと言われています。これからは、「つながる」を意識して「見守り」「支え合い」をつくる時代です。

このような中、香美町社会福祉協議会は、住民のみならずと一緒になって、役場や但馬長寿の郷と連携をとりながら、少子高齢、人口減になっても見守り、支え合いの体制が維持、強化できるようにすることを考えています。その一つの方法が「住民歴書」の活用です。

住民歴書は、「自慢のお宝」

や「生活の中で楽しみにしていること」「得意なこと」「余暇の過ごし方」などをみんなで楽しい雰囲気の中で出し合ってもらいます。出し合うことにより、自分自身の暮らしを振り返り、「できること」「できないこと（手伝ってほしいこと）」を整理していき、支え合いにつないでいきます。

いきいきサロンや老人クラブの集まりなどで進めていきたいと考えていますので、みなさまのご参加をお願いします。



▲ 100円喫茶「いこい」（香住区若松）

安心という「つながり」

集落内において、福祉・防災マップ、要援護者台帳を作成して8年が経過しました。集落の取り組みとして定着してきつつあります。福祉・防災マップ、要援護者台帳の目的は、もしもの災害の被害をできるだけ小さくすることです。また、見守り活動や支え合い活動にも活用することが出来ます。安心・安全な暮らしのもとになるものなのです。



▲ 集落福祉パワーアップ研修会
住民歴書について学びました。（村岡地区）



▲ 福祉・防災マップ更新のために、福祉委員会を開催しています（小代区貫田）

ただし、マップと台帳があるから大丈夫というものではありません。日頃の活動が非常時の底力となります。普段の見守り・支え合い活動などのつながりがあつてこそ、災害時にマップと台帳を活用したすばやい安否確認や避難が実現します。

福祉・防災マップ、要援護者台帳は、みなさまの参加と協力により作成が可能となります。そして、効果的に活用できます。安心・安全な暮らしの一環として、引き続き作成、更新の取り組みにご協力をお願いします。

災害と「福祉救援対策」

地震・津波、集中豪雨などによる災害時の対応のため、香美町社会福祉協議会の基本的な役割は次の3つです。

- ① 要援護者の福祉的な救援、生活支援
- ② 救援活動を行うボランティアに対する支援
- ③ 地域のコミュニティ再生に向けた支援

これらの支援方法は、住民のみなさまの協力も必要になります。今年度と来年度にマニュアルの見直しを行い、有事に備えるようにします。

香美町社会福祉協議会は、「つながり」を重視しながら平常時から災害時の対応まで安心・安全なまちづくりを進めていきます。



10月は「里親月間」です あなたも里親になりませんか？

里親とは…

さまざまな事情により、家族と一緒に暮らすことのできない子どもたちを、家族の一員として温かく迎え入れ、深い愛情と正しい理解を持って育ててくださる方を『里親』といいます。

また、週末や正月、夏休みなどに児童養護施設の子どもたちを預かっていただく、『週末里親』『季節里親』もあります。

里親になるには…

事前に研修（講義・児童養護施設実習）を受講していただき、子ども家庭センターにて里親申請を行います。その後、県知事に認定を受け、里親登録されると『里親』になります。

お問い合わせ先

豊岡こども家庭センター
TEL 0796-22-4314



WANPUG

但馬地区では、32組の里親がおり、11人の子どもたちが里親宅で生活しています。

～ 助け合い 広がる つながる 赤い羽根 ～

赤い羽根共同募金運動

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります

本年度寄せられた募金は、来年度約9割が香美町に還元され、地域福祉事業に使われます。

町民の皆さんの協力が積み重なって、香美町が誰にとっても暮らしやすいまちになっていく、それが“香美町を良くするしくみ”＝赤い羽根共同募金です。

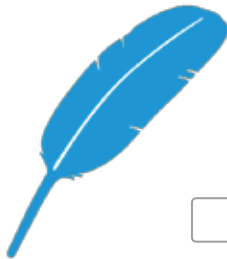
昨年度は、5,298,119円の募金をいただきました。

ありがとうございました。

昨年同様、皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願いします。

自分の町を良くするしくみ 香美町共同募金委員会

香美町共同募金委員会のホームページ



香美町共同募金委員会

検索

赤い羽根共同募金で集まったお金の使い道（一部）

- ・ 集落福祉事業⇒地域福祉活動（集落福祉活動研修会、集落福祉パワーアップ研修会など）
- ・ いきいきサロン講師派遣事業 ・ 福祉・防災マップ更新事業
- ・ 社協だより発行 ・ つどい場づくり事業
- ・ ボランティア福祉学習推進事業
- ・ 交流活動推進事業（福祉まつり、ハートフルフェスタなど）
- ・ 当事者支援事業（精神障害者サロン、ふれあい旅行助成、ひとり暮らし高齢者のつどいなど）

公募配分金事業審査会がありました

7月2日（土）に公募配分金事業審査会があり、社協以外の団体が、地域の交流、活性化につながる5事業のプレゼンテーションを行い、審査員による厳正なる審議の結果、決定しました。

詳しくは、本日の全戸配布チラシをご覧ください。

みなさまのご支援、ご協力をお願い申し上げます

ボランティア情報コーナー

ガイドヘルプ講座 受講生募集

ガイドヘルプとは、ひとりでは外出が困難な目の不自由な方に付き添って、歩行の介助や誘導する活動です。

正しい知識と支援法を学び、交流を通じて、視覚障害への理解を深めませんか？

日 時 ① 10月22日 (土) 障害の理解・障害者の生活を知る } 13:00~16:00
 ② 11月 5日 (土) 介助法を学びアイマスク体験
 ③ 11月12日 (土) 視覚障害の方と交流会

場 所 ①②香住地域福祉センター ③小代「いこいの里」

対 象 関心のある方（1回のみ参加でも可能） **受講料** 無 料

講 師 視覚障害歩行訓練士 武 内 清 氏

申込先 香美町社会福祉協議会本所、各支所へ10月7日(金)までに電話でお申し込みください。

香美町社会福祉協議会 本 所 0796-39-2050
 村岡支所 0796-98-1000
 小代支所 0796-97-2202



混声合唱団かすみ

～香住デイサービス・グループホーム訪問～

8月25日(木)に、田中系みさん指導、塩治博行団長率いる『混声合唱団かすみ』が、デイサービス「ほほえみ」を訪問されました。懐かしの歌につられ、利用者様方も自然と合唱に参加。また手遊びなども楽しみました。塩治団長は「10年以上続けている訪問活動は、これからも継続していきたいです」と話されました。

香住区自動車整備業組合 車いすの清掃・整備活動



8月24日(水)に、地域貢献活動の一環として、デイサービスほほえみで使用している車いすの清掃・整備をしていただきました。おかげさまで、安心して利用者様に、車いすを使用していただけます。

ブライダルショップ「ドリーム」

(日)～(金) 8:30～17:15営業 TEL 0796-36-2800

七五三予約受付中!!

平成28年度 サマーボランティア特集!!

夏休みを利用し、香美町内の小学生、中学生、高校生を対象に、福祉・ボランティア体験教室を開催しました。参加者は、町内の福祉施設についての理解を深めることや、様々な体験を通して「福祉」「ボランティア」について考えるきっかけとなりました。

- 小代区では、地元にある「こぶし園」で、福祉の仕事ミニ体験と入居者の方々とふれあうことができる「こどもふれあい喫茶」を実施しました。小学生、中学生26名が参加しました。
- 村岡区では、地域の方とのふれあいを通じて子どもたちの成長のきっかけとなるよう、障害者分野、高齢者分野の福祉に関わる5種類13回の体験教室を実施し、62名の児童・生徒が参加しました。
- 香住区では、ひまわりの森体験・地域の福祉施設体験、新しい取り組みとして、地域のサロンへの参加・こどもカフェの開催・防災キャンプなど地域とのつながりや防災の観点を取り入れ、小学生・中学生60名が参加しました。

小代区

福祉のお仕事ミニ体験 &こどもふれあい喫茶

7月27日(水)と8月3日(水)、24日(水)の3日間、小代区の小学生と中学生26名がこぶし園でボランティア活動を行いました。

子どもたちはまず、入居者のみなさんの生活にふれようと、二人一組でシャツ交換に挑戦。職員にコツを教わりながら、シャツのしわを丁寧に伸ばし、角を三角に折り込んできれいに仕上げていきました。シャツ交換が終わると周辺にあった物を元の位置に戻し、ここで暮らされている方が混乱しないように、安全に気持ちよく過ごせるようにと心がけました。

その後、こどもふれあい喫茶を開店。楽しみに早くから



▶休まれる方の気持ちになつて、シャツ交換を

集まっていた子どもたちは「コーヒーとお茶、どちらにしますか」と腰を落として目線を合わせ、ゆっくりと聞いてまわりました。高齢者のみなさんは、飲み物やデザー



▲「砂糖を入れますか?」やさしく尋ねる子どもたち

トを運んでくれたり、砂糖やミルクを入れるお手伝いをしてくれたりと、かわいい店員さんたちの姿に目を細め、「今年も来てくれてありがとう。いい子ばかりだね」と優しく応えていました。

体験を終え、子どもたちは「シャツ交換は少し難しかったけど、そこで暮らす人の気持ちになることが大切だと気づいた」、「笑顔で話しかけてくれたので、自分も笑顔になれた」とうれしそうに話してくれました。つながり続けることの大切さに気づき、自分のできるお手伝いで、みんなが幸せな気持ちになれる...そう感じた3日間でした。

村岡区

元気デイサービスへ 取材に行こう！

今年度の新しい取り組みとして、昨年度から社協で実施している「元気デイサービス」での交流と、地域の方に参加者の声を届ける「元気デイサービスへ取材に行こう！」を企画し、5名の児童が参加しました。

体験では、児童が記者となり、写真撮影やインタビューを行い、その後聞いたお話をボランティアだよりの記事にする作業をしました。

また、児童が体操の先生になり、手本の体操やインタビューをする様子を微笑ましく見守る元気デイ参加者の方々。普段と少し違う雰囲気、和やかなひと時を過ごしました。



▲ 元気の秘策は何ですか？

「取材体験が面白そうだったから」と参加してくれた児童は「元気デイに来ている人みんな運動に汗を流し、楽しそうだった」と話してくれました。



▲ 子ども取材班！取材内容編集集中

参加した児童たちは、インタビューをしたり、写真を撮ったりと記事を作成することで、皆さんに情報を届けることも大切な作業だと実感し、一生懸命取り組んでいました。作成したボランティアだよりの各支所に設置しますのでご覧ください。

香住区

調理ボランティアと 一緒に『こどもカフェ』

7月29日(金)、七日市の「みんなの家(今春から元民宿をお借りし、実施している地域のつどい場)」で柴山・長井の小学生10名が『こどもカフェ』に参加しました。

『こどもカフェ』は、調理ボランティアが月に一度実施している「かあちゃん食堂」の夏休み特別企画として実施しました。最初に、調理ボランティアとはどんなことをするのかを尋ねました。ボランティアに包丁の



▲ 包丁の使い方を教えてください！

使い方・切り方を教わりながら、丁寧に調理をすすめ、ハヤシライスとサラダづくり挑戦しました。児童手作りのコースターや箸入れをそえてのおもてなしです。

来店されたお客様の中には、「涙が出るほどうれしい」と喜ぶ方もおられました。また、児童達が一緒に来た小さな子ども達の世話をし、まるで家にいるかのようなほっとする場面にも出会えました。



▲ みんなで食べると美味しい～

会場に集まったみんなが、おしゃべりしながらご飯を食べて、児童・調理ボランティア・地域の方々がつながりを持てた素敵な一日となりました。

社協のけいじばん

心配ごと相談

と き：10月5日(水)
13:30～16:00
ところ：いこいの里

と き：10月12日(水)
13:30～16:00
ところ：香住老人福祉センター

と き：10月19日(水)
13:30～16:00
ところ：村岡老人福祉センター

ほっとHOT(結婚相談)

と き：10月13日(木)
13:30～16:00
ところ：香住老人福祉センター

と き：10月20日(木)
13:30～16:00
ところ：いこいの里

と き：10月27日(木)
9:30～12:00
ところ：村岡中央公民館

弁護士相談

と き：10月28日(金) ところ：小代いこいの里
13:00～16:00 担当者：谷垣竹夫弁護士

各種相談は町内どこでも受けられます。本所、各支所
にお気軽にご相談ください。

※秘密は厳守します。※相談はいずれも無料です。

お問合せは 香美町社会福祉協議会

本 所 Tel 0796-39-2050

村岡支所 Tel 0796-98-1000

小代支所 Tel 0796-97-2202

全但結婚相談連絡協議会 イベント情報

日 時：平成28年11月23日(祝) 10時～15時
場 所：チャガラグ(養父市八鹿町宿南)
TEL 079-662-5151

参加対象：30代、40代の独身男女(全但結婚相談所登録者優先)

参 加 費：男性3,000円/女性2,000円

募集定員：男女各12名(定員に達した場合には抽選)

内 容：クリスマスランプシェード作成
ランチビュッフェ、ペアトーク

申込締切：11月4日(金)

問合せ・申込先：養父市社会福祉協議会
TEL 079-662-0160

但馬こうのとり大使による縁結び交流会 参加者募集

日 時：平成28年11月20日(日) 11時～15時30分
場 所：但馬長寿の郷

参加対象：男性は40歳以下の但馬在住、在勤者
(独身) 女性は年齢フリーで県内在住、在勤者

内 容：1対1のトーク、ランチタイム、
ティータイム等

参 加 費：男性2,000円/女性1,500円

募集定員：男女各15名(定員に達した場合には抽選)

申込締切：11月1日(火)

問合せ・申込先：但馬出会いサポートセンター
TEL 079-662-7701(水・木・土 9:00～17:15)

善意銀行だより

(平成28年8月1日～31日)

(預託順・敬称略)

香典返し

・香住区

余香香 部住住
高小森 崎川浦
吉岡 輝一和
嶋崎 ゆ 夫誠敬

・村岡区

相七沖下 沼毛松中松嶋
谷市浦浜浦 田戸井村井崎
洋平宏幸善か輝一和
志晃彦弘彦り夫誠敬

・小代区

城代村村長味村 今田北岡岡 義義康 千
山岡岡瀬取岡 岡中村本田 孝之成勝晶
邊見 穰

・福祉の志

・香住区

余部 前川 里子

・物品預託

・香住区

匿名 リクライニング車イス1台

預託金合計 426,287円

○お名前は、預託者本人のご意向
により掲載しています。

皆様からのあたたかいご預託は社協の地域福祉活動に使わせていただきます。ありがとうございました。

収集ボランティア

(平成28年8月1日～31日)

古切手等の収集にご協力いただいた皆様
をご紹介します。(預託順・敬称略)
古切手・ベルマーク・はがき・テレホン
カード

〔香住区〕

守柄 中村悟事務所

香住 駒むすび

香住 (有)田村建築

香住 (有)中村組

香住 香住ロータリークラブ

香住 橋法務行政書士事務所

〔村岡区〕

村岡 井口時計店

市原 中村 智昭

日影 西田 昭子

萩山 森井 美穂子

萩山 小林 美代子

長板 休 君代

村岡 古家工務店(有)

〔小代区〕

鍛冶屋 井上 弘子

城山 穴田 博子

○その他にも、匿名で多くの方に
ご協力頂きました。ありがとうございました。



ストップ・ザ・無縁社会 全県キャンペーン

絆つなげる
明日へつながる